

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】令和7年3月10日(2025.3.10)

【国際公開番号】WO2022/210693
 【出願番号】特願2022-538123(P2022-538123)
 【国際特許分類】
 C 0 8 J 5 / 1 8 (2 0 0 6 . 0 1)
 【 F I 】
 C 0 8 J 5 / 1 8 C E S

10

【手続補正書】
 【提出日】令和7年2月28日(2025.2.28)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

20

150 での主配向方向の \tan が 0.25 以下であり、130 での主配向直交方向のヤング率が 50 MPa 以上であり、分子量分布 M_z / M_w が 1.5 以上 4.5 未満であることを特徴とする、ポリプロピレンフィルム。

【請求項2】

150 での主配向直交方向の \tan が 0.25 以下である、請求項1に記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項3】

0 での主配向直交方向の損失弾性率 E'' が 3.5×10^8 Pa 以下である、請求項1または2に記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項4】

30

130 での主配向直交方向のヤング率と、フィルムの厚みの積が 500 N/m 以上であることを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項5】

降温速度 10 /分 で測定した結晶化温度 T_{c10} () と降温速度 40 /分 で測定した結晶化温度 T_{c40} () を用いて外挿点法により求めた降温速度 0 /分 における結晶化温度を T_{c0} () とし、フィルムの融点を T_m () としたときに、 $T_{c0} + T_m - 280$ を満たす、請求項1～4のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項6】

130 で10分間の加熱処理をした後の静摩擦係数 μ_s が 0.80 以下である、請求項1～5のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

40

【請求項7】

主配向方向の引張伸度が 35% 以上であることを特徴とする、請求項1～6のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項8】

フィルム両面の最大高さ S_t が 2.0 μm 未満である、請求項1～7のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項9】

ゲルパーミエーションクロマトグラフ法で測定した分子量分布曲線において、対数分子量 $\log(M) = 6.5$ のときの微分分布値が 1.0% 以上 10% 以下である、請求項1～8のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

50

【請求項 10】

ポリプロピレン樹脂を主成分とする層を少なくとも2つ有する、請求項1～9のいずれかに記載のポリプロピレンフィルム。

【請求項 11】

請求項1～10のいずれかに記載のポリプロピレンフィルムを有する、工程用フィルム。

【請求項 12】

請求項1～10のいずれかに記載のポリプロピレンフィルムを有する、離型フィルム。

【請求項 13】

請求項1～10のいずれかに記載のポリプロピレンフィルムを有する、保護フィルム。

10

20

30

40

50